

企業が成長する原動力は、社員一人ひとりのステップアップに他なりません。 今回は、将来を担う若手のホープ3名に、自身のキャリアプランについてインタビュー。 それぞれの3カ年計画から、仕事に対する誠実な姿勢と、未来への展望をご紹介します。



## 成長した点

朝をスムーズに過ごすことで、1日全体の仕事が円滑に進むように なったと感じています。

## もっと成長したい点

1人でできることを増やし、現場調整の際は 誰にでも的確に説明できるようになりたい!

# 〔私の3カ年計画

## 1年後

ますが、聞いただけで終わら せず、しっかりと覚えて次に活 かせるようにします。

## 2年後

将来後輩ができたときに自分も同じよ うに教えられるように、業務を完璧に覚 えたいと思っています。

## 3年後

人を目指します。人によって個性があるた め、相手の意見を尊重しながらも、うまく現 場をまとめ、大人な対応ができるようにな りたいと考えています。

里想の先輩

現場を総括している先輩に憧れています。その先輩は経験豊富で視野 が広く、4つの現場をまとめられている姿は本当にすごいと思います。



ミュニケーションが取りやす ばかりで日々勉強の連続です。 た。今の仕事と通じる部分もあ の点検や修理に携わっていまし 職場では会話の機会が少なく、 い」という言葉でした。 レットで紹介されていた「コ 入社の決め手は、求人パンフ りますが、実際には新しいこと

先輩が指導してくれましたが

るのは初めての経験で、

これほど大きなチームをまとめ

専門分野もさまざまです。

からベテランまで、年齢や性 勢53名。メンバーは20代の若手 え、下請け会社の方々を含め総

有限会社吉田工業 教えてください 入社されたきっかけを

久宣さん。世代も専門も異なる を率いる班長に抜擢された星野 にある仕事の信念に迫ります。 話」でした。星野さんの活躍の裏 信頼を築く武器にしたのは「対 職人たちが集う未知の現場で、 入社5か月で50人超のチーム

これまでの経歴と、

2025年の1月からは茨城 心境はいかがでしたか

抜擢されたときの 53名を率いる班長に

前職はプラント工場で、

のでした。現場は社員6名に加 るのか」という不安が大きなも 現場で、班長を任されていま

初めは、正直「自分にでき

県にある東海原発の新設工事の

人社5か月で

気が大きな魅力だと感じます。 立場に関係なく話しやすい雰囲 長自ら現場に入ることもあり、 えていました。実際、当社は社

で対話を重ねることによって、 ことが大切です。こうした姿勢 的に話を聞き、現場を見て学ぶ が彼らのノウハウを勉強させて が生まれていると感じます。 もらっています。自分から積極 をいただく場面もあり、 「このやり方でもいいか」と提案 いとした、相談しやすい雰囲気 ム全体としても和気あいあ 私自身

まとめる上で、大切に 多様なチームを していることは何ですか

ざというときに本音で話せる信 えながら関係を築くことで、 事の話だけでなく、世間話を交 す。また、メンバーの方から、 頼関係が生まれると考えていま は貴重な情報交換の場です。仕 の何気ない会話が、私にとって 仕事の合間や休憩中の喫煙所で ンを大切にしています。特に、 何よりも、コミュニケーショ

普段、

仕事における信条や、 瞬間を教えてください。 やりがいを感じる

もない頃、 関係が不可欠だと、改めて感じ う?」と気兼ねなく言い合える 違いが工期に影響するため、職 感しました。わずかな見栄えの ケーションがいかに大切かを痛 品質の重要性と事前のコミュニ 度手間になったこの経験から、 敗がありました。やり直しでニ ず、工程が止まってしまった失 因で元請けの検査に合格でき がけています。班長になって間 人さんたちと「これはどう思 「手戻りのない仕事」を常に心 溶接の出来栄えが原

すほどですが、さまざまな状況 超えるときもある過酷な環境で 地下で、湿度が90パ 何もしなくても汗が噴き出 作業をしている現場は ーセントを

> 創り上げたときの喜びは格別。 厳しい環境だからこそ、達成感 を皆で乗り越え、一つのものを

はひとしおです。

成長に対する想いを 今後の目標と、会社の お聞かせください

と信じています。

なく、 役割。翌日の作業予定を現場ご て1年未満で学ぶべき点も多く その信頼が会社の業績となり、 たい」という、お客様からの信 ンでの書類作成も私が担うべき の目標です。現場の管理だけで 在になることが、私個人として 現場を任せてもらえるような存 ありますが、ゆくゆくは一人で ると信じています。まだ入社し ひいては私たち社員に返ってく 頼に繋がるでしょう。そして、 一つひとつの丁寧な積み重ね やがて「吉田工業なら任せ 他の社員が苦手なパソコ

> そうした小さな努力の積み重ね うになりたいと考えています。 現場全体をスムーズに回せるよ ど、自分が率先して動くことで が、いつか必ず成長に結びつく とにまとめて印刷して渡すな

きな現場を動かしていく星野さ 様な仲間と信頼関係を築き、大 姿勢は、会社の未来を担う大き ん。その誠実な仕事ぶりと学ぶ コミュニケーションを軸に、多

な力となるに違いありません。

## 成長した点



工事一課 石田 旭さん 入社年:2025年

## 先輩の指示を聞いて自身で考え、 実行する力が身についた

もっと成長したい点

仕事の流れを覚え、不明点をなくしていきたい!

- 私の3カ年計画

## 1年後

すが、1人で完結できるようになりたい と思っています。動きに無駄が出ない よう、計画的に準備しながら取り組ん でいるところです。

すが、2年後には自分がしてもらった ように後輩を指導できるよう、まずは 自身の業務を完璧に覚えます。

## 3年後

# 次なる目標を

現時点ではまだ3年先の具体的なイ メージは持てていません。まずは1年 後、2年後の目標を着実にクリアし、そ の先に自分のやるべきことを見つけて いきたいと思います。

まつもと あつし 松本 厚さん

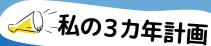
最近一緒に業務をすることが多く、さまざま な指導やアドバイスをいただいています。

## 理想の先輩

成長した点

もっと成長したい点

管理側として、溶接のチェックや知識を深めること!



## 2年後

まだ経験が浅く、現場で突発的な変更 が生じた際に、その場で即決できない ことがあります。目標達成のために、日 頃からさまざまな図面や要領書に目を 通すようにしています。

小田倉 知也さん

入社年:2024年

1年後

関わる機械系の職種など、さ まざまな知識を深めていきた いと考えています。まずは必要 な知識を把握するように努め ています。

## 3年後

現在、2人で担当している現場管理や事務作業を 1人でも余裕をもって取り組めるようになるのが目 標です。協力会社の方々とのコミュニケーションを さらに深め、さまざまな情報を得ることで、新しい 視点を身につけていきたいと考えています。



仕事に関する知識が豊富な方で、石河さんに聞けば何でも解決します。 私も石河さんのように、頼られる存在になりたいと思っています。

# 企業情報

設立年: 1987年5月12日

商 : 12 億円 ※ 2023年3月時点

# 新たな仲間と描く未来図~緑用緒動進捗しポート~



人事部 すずはら ひろこ 鈴原 寛子さん

高校新卒者の入社を皮切りに、この1年で当社は多様な背景を持つ新 たな仲間を迎えました。採用活動の最前線から見えてきた確かな手応 えと、未来への次の一手についてご紹介します。

## 前回取材から現在までの採用活動の進捗

## 多様な力が未来を拓く

2024年10月のインタビュー以降、採用活動は着実に前進しています。2025 年4月、当社初となる高卒の新卒社員3名を迎え、社内は活気にあふれるよう になりました。中途採用でも経験者や若手、外国人技能実習生など多様な人 材が加わり、職場に新たな刺激が生まれています。来春には大卒者の入社 も控え、未来を担う力が着実に育っていることを実感する毎日です。

## この1年の採用活動の戦略の変化

## 会社のリアルな姿を発信

この1年、特にSNSでの情報発信に力を入れています。中でも Instagramは、当社の事業内容や雰囲気をより多くの方へ伝える ため、ほぼ毎日更新中。新入社員から「インスタを見ていました」と の声も寄せられ、若い世代へのアプローチに手応えがあります。 ユニークな試みとしては、ストーリーズ企画「本日の社長飯」があり ます。社長の昼食を投稿し、親近感をふかめてもらうねらいです。 またYouTubeでは、特別な許可のもと発電所内の業務風景を公 開。動画で現場のリアルな空気感を伝え、入社後の具体的なイ メージを持ってもらうことを目指しています。

## 直接触れ合う機会を創出

オンライン発信と並行し、求職者の方々と対面での交 流も大切にしています。県内で開催される企業説明会 には代表も参加し、会社の雰囲気や考えを直接お伝 えしています。

また、2025年から大学牛向けインターンシップも開 始。1日と5日間の本格的なプログラムでは、工具の使 用から発電設備の分解・組立、CAD作図、溶接までリ アルな業務を体験できます。2025年8月には代表の 直接指導のもと2名が参加。今後も月1回ペースでの 開催を予定しています。

## 新たに見えてきた課題と今後の展望

マッチ率向上が 次のテーマ

応募は順調な一方、求めるスキルと求職者の希望にズレが生じる「マッチ率の低さ」が課題 です。資格や経験年数だけでは伝えきれない仕事の深い魅力を、今後はより的確な言葉で 発信していく必要があります。

独自の魅力を発信

建設業界が人手不足の課題を抱える中、当社にはAIに代替されない高い技術力がありま す。今後はこの強みを軸に「採用広報」の視点で、当社の魅力を戦略的に発信することが 不可欠です。

インフラを支える社会貢献度、地域トップクラスの福利厚生、役職者による手厚い現場指導 が当社の大きな魅力。2025年も「ユースエール認定企業」に認定されました。これは、月の残 業10時間以内、年間有休取得16.4日、育休取得率100%という働きやすい環境の証明です。 こうした強みを、SNSなども活用してより効果的に届けていきたいと考えています。

# ありがとう メッセージ

新しい現場での不安を打ち消し、いつも気にかけ てくれる先輩へ、感謝の気持ちを伝えたいと語っ てくれた下野さん。今回は、下野さんの背中を押し てくれた松本さんへのメッセージをお届けします。



、下野さんが「ありがとう」を送りたい方/

松本厚さん

## From 工事一課 下野 健太郎さん



## 「仕事を教えてくれてありがとうございました」

## 松本さんとのエピソード

不安な気持ちを和らげる、 松本さんの温かい気遣い

初めての現場で右も左もわからなかった私に、最初に仕 事を教えてくれたのが松本さんでした。当初は不安な気 持ちが大きく、もともと人と話すことが得意ではないこ ともあり、新しい現場でうまくやっていけるのか心配で した。そのような私の様子を察して、松本さんが声をか けてくれたのです。仕事のことだけでなく、他愛もない 雑談もしてくださり、ずいぶん気持ちが楽になりました。

### 松本さんの尊敬しているところ

期待を力に変える、 松本さんのメッセージ

人に話しかけるのが苦手な私をいつも気にかけ、声を かけてくれます。また、仕事でうまくいかないことが あっても、頭ごなしに怒るようなことはありません。 「できると思っているからこそ怒る」という松本さん の言葉が、自分を奮い立たせるきっかけになっていま す。一人ひとりを気にかけてくれるその姿勢を、心か ら尊敬しています。

# 業界ニュース

クイズに答えて、あなたの知識度をチェック!

原子力発電所の高経年化対策として、2023年5 月31日に「脱炭素社会の実現に向けた電気供給 体制の確立を図るための電気事業法等の一部を

改正する法律」(GX脱炭素電源法)が成立しました。これに基づ き、2025年6月6日に高経年化した原子炉に対し、新たな規制 が施行される。同法により、○○年超運転のプラントについて、 10年以内ごとに「長期施設管理計画」の認可を受けることが義 務付けられた。



文中の○○に当てはまる数字を (1)~(4)の中から選びなさい。

(1) 10 (2)20

(3)30(4)40

国内原子力発電 再稼働分の設備利用率は80.5% https://www.jaif.or.jp/journal/japan/27601.html

(正解](3)(

業界動向を知るのに役立ててください。

経済産業省の「【A】」が4月17日、1年3か月ぶり に開かれた。同協議会は、核燃料リサイクル事業 の推進について、【B】 と話し合う場として、2015 年以来、行われている。

【A】【B】に当てはまる適切な組み合わせを (1)~(4)の中から選びなさい。

(1)【A】使用済燃料対策推進協議会 【B】事業者

(2)【A】原子力エネルギー協議会 【B】 市町村

(3)【A】原子力エネルギー協議会 【B】 国民

(4) [A] 使用済燃料対策推進協議会 [B] 政府

▼参考

「使用済燃料対策推進協議会」エネ基策定後 初開催 https://www.jaif.or.jp/journal/japan/27628.html

我々の業界動向は、社会の流れと密接に関わっています。経済ニュースをチェックし、敏感に業界動向を捉えていきましょう!